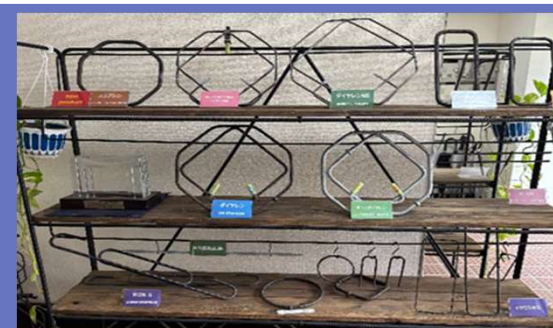




主力製品他補強筋

○本社所在地：東京都文京区本駒込1丁目4番3号

○事業概要：建築工事の省力化と施工性の向上に資する製品の研究開発

○常時使用する従業員：130名

（コーリョー建販(株)・コーリョー開発(株)2024年9月期 大田機材(株)2025年3月期）

○現在の売上高：51億円

（コーリョー建販(株)・コーリョー開発(株)2024年9月期 大田機材(株)2025年3月期）

○法人番号：1010001002695

○Web：<https://www.koryo-kenpan.co.jp/>

コーリョー建販株式会社（卸売業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
大田 真司

建築工事の省力化技術で地域経済と国土強靱化をけん引

当社は補強筋製品「ダイヤレンNS」を中心に5件の特許を取得し、年間1500件以上の現場で採用されるなど、省力化技術の第一線を担ってまいりました。今後はこれらの実績と技術を基盤に、国土強靱化計画を支える中核企業として、建設現場の合理化を推進し、地域経済の活性化と社会インフラ整備に貢献。革新と挑戦を重ね、100億円企業としての持続的成長を実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 2032年のグループ売上100億達成に向け、年率10%程度の成長を目指す。
- ① 市場シェアの拡大…既存製品のシェア拡大
 - ② 生産体制の強化…新工場建設及び製造ラインの自動化
 - ③ 新製品の事業化…2030年に新商品を3品目商品化
 - ④ 技術支援体制の整備…補強計算システムの構築
 - ⑤ 地域経済と政策貢献型成長…国土強靱化計画に貢献

課題

- ・主力製品の適用範囲拡大
- ・増加基調の補強計算依頼への対応
- ・各工場の生産性向上
- ・新商品の研究開発
- ・販路の拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・主力製品の適用範囲を拡大し、設計・建築工事の省力化と施工性の向上、さらに労力の削減を提供。
- ・補強計算の共有システム構築により、補強計算対応の省人化と迅速な対応を実現可能にする
- ・工場の新設、製造ラインの自動化等の大規模な設備投資により製造量拡大
- ・開発中のプロジェクトの商品化・日々の開発強化

実施体制

- ・商品開発・技術委員会メンバーによる実大実験、解析の計画策定
- ・新たに専任担当を任命
- ・新工場の移転計画・投資設備計画が策定済である

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現ビジョンの3つの柱

外需獲得（全国及び世界に通用する商品の開発）

当社はこれまで主に国内建設市場におけるニーズに応える製品開発に注力してきましたが、今後は全国展開をさらに進め、将来的にはアジア圏を中心とした海外市場への進出も視野に入れています。特に、鉄筋コンクリート構造物の開口部補強技術は、構造安全性と施工効率の観点から世界的な共通課題に対応できる強みがあります。コーリョー開発の製造力と大田機材の現場折衝力を活かし、全国のゼネコンや設計事務所への仕様化提案を進めるとともに、グローバルに通用する補強筋システムの共同開発を推進していきます。

雇用促進（建設業界全体の働き方改革への貢献）

コンソーシアムの取り組みは単に売上を伸ばすだけでなく、雇用の拡大と働き方改革を実現するものです。自社工場での雇用創出はもちろんのこと、現場作業における施工の省力化・簡素化により、建設現場全体の作業負担を軽減し、現場作業者の生産性と安全性を高めます。とりわけ基礎工事に関わる専門職の高齢化が進む中、次世代を担う若手の入職を促すためにも、作業環境の改善と魅力ある現場づくりが不可欠です。当社の省力化技術は、その社会的使命を果たす手段と捉えています。

地域経済牽引（国土強靱化/地方建設業の活性化）

当社の補強筋製品は、まさに国土強靱化計画の根幹に関わる構造安全性の確保と工事効率化に貢献するものです。南海トラフ巨大地震や頻発する風水害への備えとして、社会インフラの更新と耐震補強が求められる中、補強技術の高度化と普及は急務です。

私たちは、その実行主体として自治体や地域ゼネコンと連携し、地方の建設業が持つ技術と施工力を活かしながら、地域経済の中核を担う役割を果たしていきます。開発・生産・雇用を地元で循環させ、持続的な地域再生に貢献します。

売上高



100億
達成

